



北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

NPO 法人ピアソン会事務局  
(事務局長 伊藤 悟)  
〒090-0036 北見市幸町7丁目4番28号  
ピアソン記念館内  
Tel. FAX 0157-31-1215  
午前 9:30 ~ 午後 4:30  
e-mail / pierson@yacht.ocn.ne.jp

第125号

(隔月刊)

発行：2025. 12.10

(令和7年12月10日)

発行人：中山 一夫(理事長) 編集人：伊藤 悟(副理事長)



会報のバックナンバー等は、左のQRコードホームページで読むことができます。



ピアソン邸の時代から、この館でクリスマスツリーを親子で飾り付けたことが、北見(当時野付牛町)での初めてのクリスマスツリーであったことから、写真に残る当時の手作りツリー再現を、ピアソン夫妻所縁の幼稚園児の協力で、2017年より実施しています。今年で9回目の実施となりましたが、新型コロナ禍の2020年のツリー飾り付けだけが、園児手作りオーナメントを、大人による代行飾り付けでの実施でした。

今回の飾り付けは、12月1日月曜日の休館日に、園児27名(年長)と教諭5名(小林



## 幼稚園児手作りオーナメント クリスマスツリーの飾り付け

園長含む)が、午前11時に手作りオーナメントを持参し、今年から新しく準備した(武田花光園/協力)赤蝦夷松のツリーに飾り付けをしました。

アップルポマンダー、エッグポマンダー、小さなリース、ピアソンの庭で獲った松ぼっくり、など。さらに枝葉に積もる雪を表現した棉などを一人一人の園児が、踏台を使ったり先生に抱え上げられて高い枝に飾ったりと、和気藹々と楽しそうに吊るしました。

飾り付け終了後には、リードオルガン(1878年製)の伴

【写真下】  
幼稚園児による今年のクリスマスツリー。



奏で、「聖しこの夜」を元気に歌いました。最後にクリスマスツリーを囲んだ記念の写真撮影を撮りました。この日は、ピアソン会顧問(現在はニュージールランド在住)のグラハム・ハロッド氏が、ちようど来北されていたこともあり、園児たちとの記念写真に加わりました。ツリーは、



## 永年団体会員へ 「感謝状」を贈る

- ① 五十嵐建設(株)
  - ② 金星北見ハイヤー(株)
  - ③ ホテル黒部
  - ④ 有北見石材店
  - ⑤ 株サン園芸
  - ⑥ 永井法律事務所
  - ⑦ 日本キリスト教会北見教会
  - ⑧ 株式会社ほくべい
  - ⑨ 株日専連ニックコーポレーション
- 北見市指定文化財「ピアソン記念館」に対するご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。
- 今後とも変わらぬ支援をよろしくお願いいたします。
- ピアソン会理事会



## 第46回文化サロンdeピアソン

## 「北欧風クリスマスリース講習会」終了!

「世界にひとつだけのクリスマスリースをつくりました!!」

リース材料の組み合わせに自分らしさ!



増井五夜子講師の語りかけで第46回文化サロンdeピアソンは、恒例の「クリスマスリース作り講習会」が始まりました。毎年、予約開始と同時に満席になることから、今年は11月29日(土)・30日(日)の両日に午前と午後の部を設定。計28名のご参加をいただきました。北見工業大学国際交流センターに学ぶモンゴルからの

3名の留学生も加わり、初めてのピアソン記念館で「きれいな作品ができて嬉しい。楽しい講習でした」と感想を寄せています。

北見で最初のクリスマスツリーを紹介したのがピアソン夫妻。北見のクリスマス行事発祥の館でもある記念館に親しんでいただくために、材料は夏の間に家庭



【写真右】ハープ部会員の助言を受け、熱心に取り組む参加者。



【写真右】増井講師の指導で、自分らしさのリースを頭の中で組み立てる。

から採取しておいた草花を乾燥させて使い、リースの主役になる垣根の「ヒバ」は、講習会の一週間前に剪定して準備しました。ヒバの木には殺菌・防虫の効能もあり、爽やかな香りがクリスマスから新年にかけて楽しめます。

今年のテーマは「北欧風クリスマスリース」。香り豊かで自然感あふれる北欧らしさを演出するために、飾りの松ぼっくりは、スト



ローブ松の大きなものからカラマツの小さなものまで拾い集め、松脂を消毒して色付けしました。さらにスパイスは、八角(スターアニス)や麻ひもで結わえたシナモンスティックも用意。スライスした蓮根は「見通しが良くなる縁起もの」です。一年間の集大成の「クリスマス行事」。リース作りとツリーの飾りつけには、そこに辿りつくまでの準備作業の積み重ねがあります。ピアソン会のクリスマスリースの特長は、「リース



【写真右】完成したリースを持ち寄って記念の写真撮影。

に飾る素材の種類の豊かさ」にあると言われています。ハープ部会のメンバーがこの日のために丹精込めて育てた草花への思い。そしてピアソン夫人のガーデニングへの愛情がこれからも北見の地に受け継がれていきますように。クリスマスにお祈りしましょう。

(S・C)

【写真上】モンゴルから北見工大留学の左からブジンさん、マラルマさん、ナミイさん。



## 第45回文化サロンdeピアソン 日本郷土 民謡三絃 「三柏の森に響く北見の鼓動」終了報告

明治・大正の時代、北海道の開拓に入ってきた人々は、全国各地からの入植者であり、それ故北海道の文化は、日本全国の地域文化が混ざり合い、今日の北海道を創造したといえます。北海道には、アイヌ民謡と和人（アイヌの人々から見た日本人）の民謡があります。今回は当記念館で初めての日本民謡である北海道民謡を取り上げ、10月18日土曜日午後5時から演奏会を開催しました。



【写真】左から仲野魁斗氏、須貝星音さん、須貝真幸恵さん。

須貝真幸恵（唄）北見民謡会響会主、仲野魁斗（津軽三味線）氏、須貝星音（唄と津軽三味線）さんの3人を迎えての民謡のコンサートを開催しました。3人は、今年も全国の各種大会で優勝など、大いに活躍されている方達です。ボランティアでの出演依頼には恐縮するようないでしたが、当会理事の知合いということも幸いし、快く出演を請けていただきました。

会場には54名が集まり、生音での三味の音が響き渡る開演では、北海道民謡メドレーで、「やん衆音頭」・「出船音頭」・「ソーラン節」と、快いバチの音、小太鼓、哀愁を誘う唄声、会場を一瞬で民謡の世界へと。唄と演奏の合間に、北海道民謡の歴史や、地域の特徴など、親切な解説を加えて、「道

## 素敵な来館者たち！②

10月26日、斜里町本町第2自治会の15名のみなさんが来館されました。



南口説節、「津軽あいや節」そして津軽三味線での「津軽じょんがら節」など1時間のコンサートが瞬く間に経過してしまいました。その後、会場から熱心な『アンコール』などもあり、最後に北海道盆唄で幕を閉じました。終了は、6時15分となりました。



## 素敵な来館者たち！①

11月7日

に美里資料館のボランティア団体の16名が早朝に来館。美里地区に残る廃校で、地域の開拓時代の農機具などの資料を、地域民間の協力で資料館として保存展示をしている団体です。北見市内から12キロほど離れた郊外にあり、お店などもない地域であるので、地域の名産である蕎麦の工房も運営しています。10割蕎麦と「そば打ち」の講習会、また蕎麦粉の販売など、地域興しを熱心に実践している農家の方々です。冬季間は、土日のみの営業、11時から14時まで。農繁期は休息み。本業の農業優先です。蕎麦好きの筆者も食してきましたが、蕎麦も出汁も美味々々。（S・I）



10割蕎麦のとろろそば、700円と値段も手頃。



# 「ニュージーランドからの便り」第53回

ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏



2025.9.23(火)

ファンガパラオアに戻る

◆8月25日付けのイーメールをたった今見つけたところだ。スパムフォルダー(迷惑メール)に入っていました。コンピュータは時に、自身で何かの操作をするようです。教会活動のことで、まだお忙しいことがわかり、安心しました。

◆ここ、ファンガパラオアの今日は雨で涼しいですが、土曜日のファガイイからの天候は、ドライヴに最適でした。ルアペフ山は新雪に覆われ格別でした。◆不在の間に、庭のプラムの木はこれまでにないほど花を付けていました。蜂が群がっているのが今年は豊作になるでしょう。

◆地方自治体の選挙投票用紙が送られてきました。今回は郵便によりです。選挙広報だけでは候補者の選択は難しいですが、いつものように投票用紙を送ります。グラハム・ハード

2025.10.6(月)

ガーデニング

◆北見の秋が快適で、教会活動もよく進みますように。ここでは、雨が多く、変化に富んだ春を過ごしています。今朝は、夏の好天続きで、ジャガイモを植える準備で野菜畑を耕しました。土は柔らかく色も濃く、良さそうに見えました。種芋を車庫で用意していましたが、まだ十分には成長していません。

◆睡蓮池の除草もしました。葉は多いのに、わずか一つか二つしか蕾が見えません。◆日本の新しい首相のニュースを見ました。

2025.10.26(日)

日本への旅行計画・家族写真(幼い頃)

◆北見の秋の季節は快適でしょう。ここファンガパラオアでは、変わりやすい春の気候でしたが、南島の多くの地域で強風の被害などがありました。

◆今年もまた、2回目の北見訪問の旅行計画をお知らせできるのは嬉しいことです。すでに、国際便を予約しました。11月19日(水)札幌着。12月18日

(木) ニュージーランドへ。北見へは、JRで11月28日(金)札幌発。帰途もJRで、12月5日(金)札幌へ。北見ではまた、プラザホテルに滞在予定です。その頃に、北見は寒くなっているでしょうが、皆さんにお会いできる機会があれば嬉しいです。

2025.11.9(日)  
喫茶クボタで  
12月2日(火) 11時に

◆メールと喫茶クボタでの再会のご連絡、ありがとうございます。皆さんとお会いできるのが楽しみです。ここニュージーランドでは、暖かいけれど変わりやすい天候です。我が家の池の水蓮は次々と咲き続けています。

2025.11.19(水)

◆今朝、雪景色に迎えられ、無事札幌に。JRが決まり次第、再度連絡いたします。G・ハード



【写真】右側から順に父親、その横にグラハムさん、姉ジュディ、母、弟マレイとの撮影。

◆11月21日(金)昨日予約済み。来週は北見です。11月28日(金)の15時40分着。特別快速大雪です。札幌行きは、12月5日(金)の10時45分発の快速きたみ、皆様によりしく。グラハム・ハード

団体会員

タクシーで用命は！  
金星北見ハイヤー  
0157-23-2339  
兄さん兄さんサンキュー

## 編集後記

木枯らしも過ぎ、ピアソン庭の木々も柏の木の枯葉を除いて、すっかり葉を落としてしまいました。気温もグンと下がり始め、これから4月になるまでは厳しい冬の季節となります。前号のピアソン便り発行以降、10月開催の「日本郷土民謡三絃」、11月の「クリスマスリース講習会」、そして12月1日には、幼稚園児作品のクリスマスツリー飾り付け会。この行事にはピアソン会ハード顧問も参加と、本年を締めくくる各種行事が開催されました。報告記事をお読みください。

永年、ピアソン記念館の運営管理にご協力いただいています団体会員様には「感謝状」をお届けいたしました。今後ともご協力よろしく願っています。

明治・大正時代に開拓民としての北海道にいられた親族の照会など、電話やお手紙を頂くことがあります。今回は、四国高知の土佐村からの移住者を先祖に持つ方からの照会がありました。当館所蔵記録大正六年「婦人矯風会記録帳」に記載があるのを見つけた。まだまだ調査事項は尽き無いようです。

(副理事長兼事務局長) 伊藤 悟



瞳ふあっひょん・瞳けあ

めがねのよっしー

代表 岩井 敏 忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯. 090-2693-1919 TEL. 0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時